

【別紙様式】

平成28年度 津山市立（大崎）小学校

改善プラン「平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（年度末）

津山市 達成目標	<p>これまでの取組やたしかめテスト等から</p> <p>【平成29年度全科目で岡山県平均点を超える】見込み</p>	<p>○県平均と比べ、国語Aの「書くこと」の領域で23P、国語Bは「話すこと・聞くこと」の領域で21Pの開きがある。</p> <p>○算数Aでは、県平均と比べると「数量関係」の正答率が最も低く、「数と計算」「量と測定」「図形」の領域も、依然10Pの差がある。算数Bは特に記述式の所が低く課題である。</p>	
	<p>学校の取組・改善方法（課題に対する改善方法）</p>	<p>進捗状況</p>	<p>3学期及び来年度へ向けて（具体的な達成目標・数値目標）</p>
<p>市全体の取組</p>	<p>「問題データベース」を活用し、A問題の課題のあった類似問題を取り上げ、朝学習や放課後、授業中に位置づけて取組を進める。</p>	<p>B</p>	<p>○家庭学習時間点検カードを実態に合わせ、毎日提出。（90%以上）</p> <p>○家庭学習の手引きを活用する。（アンケート調査で活用90%以上）</p> <p>○家庭学習が定着しにくい児童には、放課後等で個別指導。（3学期）</p> <p>○既習事項は、全員がたしかめテストA問題の80%以上の正答にする。</p>
<p>①</p>	<p>○学習内容・時間の確保と確認の徹底。最低学力保障として「大崎自律プログラム」に全校で取り組む。各学年で早めの漢字習得学習を行い大崎漢字を行う。また、かけ算九九、47都道府県覚え、歴史人物65人覚え、なわとび二重跳び50回、鉄棒逆上がりなど学力・体力向上を行う。</p>	<p>B</p>	<p>○大崎漢字合格（90点以上）を学年ごとに取り組み、80%の達成を目指す。</p> <p>○「大崎漢字」「かけ算九九」「都道府県覚え」など、「大崎自律プログラム」の合格者には認定証を渡し、次の励みにする。</p> <p>○平成29年度は5・6年生の希望者を募り漢字検定に挑戦する。</p>
<p>②</p>	<p>○朝学習やすきま時間、授業の導入に、問題データベース等を活用して多くの問題に取り組むことで、特に基礎的な学力の底上げをしていく。</p>	<p>B</p>	<p>○学力テスト（NRT）の学力偏差値が国語・算数ともに全校平均5.2以上を目指す。</p> <p>○落ち着いた態度で授業に取り組めるように、導入に漢字や計算練習を取り入れる。毎週木曜日にたてわり朝学習を実施し、学び合う集団を作る。</p> <p>○国語・算数が好きだと好意的に答える児童を1割以上増やす。</p>
<p>③</p>	<p>○多めの宿題や自主学習、予習の手引きなど配布し、家庭学習の充実を図る。また、読書の時間を充実させるために「読書カード」の取り組み、また家庭の協力を得るために「お手伝い・マッサージカード」の取り組みを今後も進めて行く。</p>	<p>B</p>	<p>○新年度、学級懇談やPTA総会の中で、家庭学習について保護者に説明を行い、協力を得る。</p> <p>○津山東中学校のテスト期間に合わせて、ノーメディアの取り組みを行う。</p> <p>○予習を奨励し、自主学習に1日1ページ以上取り組ませる。週1回以上の作文など、「書く」機会を増やす。</p>

※進捗状況・「S：目標を大きく上回った（100%を超えている）」「A：目標を十分達成できた（85%以上100%未満）」「B：目標を概ね達成できた（70%以上85%未満）」
 「C：目標をある程度達成できた（50%以上70%未満）」「D：目標をあまり達成できなかった（30%以上50%未満）」「E：目標を達成できなかった（30%未満）」